

2021年度 薬剤師募集 病院説明会資料



社会福祉法人
京都社会事業財団 西陣病院
薬剤部

西陣病院 概要

病床数：300床 外来透析：125床 入院透析：8床

診療科：22科 院外処方箋発行率：97.8 %

病棟：急性期 4病棟（病棟薬剤業務実施加算）

内科（急性期、慢性腎臓病）

外科・泌尿器科、整形外科・眼科

包括ケア病棟 1病棟

障害者病棟 2病棟

薬剤師数：13名 女性：10名、男性：3名

採用実績：2019年 2名、2020年 2名

業務拡大に向けて 16名に増員予定

平均在籍年数：11.2年

平均年齢：35.4歳



平均的な1日の過ごし方

朝礼：前日、病棟、各種委員会からの申し送り事項

病棟担当者 → 病棟

調剤担当者 → 注射、定期、高カロリー輸液

抗がん剤担当 → oncall 体制

午後 基本的に 病棟業務

夜診 残業（スライド勤務 12:45～21:00）



勤務形態（日直・当直・連続休暇等） 時間外・休日出勤等

勤務時間（シフト制、交代勤務）

日勤：8:30～16:45、8:30～13:15（半日）

夜勤：12:45～21:00（現行は、16:45～21:00 超過勤務）

当直：勤務なし

休日：シフト制（8:30～13:15）

薬剤部の方針として「原則、残業しない」

休暇：夏季3日間（最長10日間）、冬季6日間



西陣病院で、薬剤師ができること

コンパクトな病院なので、

1. 薬剤師の基本スキルを学ぶことができる
2. 垣根が低いので、医師や看護師から情報収集
3. 診療科における専門性を経験できる
4. 自己研鑽のサポート体制がある



薬剤師の基本スキルを学ぶ機会がある

基本スキルとは、

病院のシステムを
理解できる

調剤業務

調剤業務

一般調剤、高カロリー輸液混注、抗がん剤調製

医薬品情報業務

自己研鑽

薬剤特性を知る、学ぶ機会がある

症例検討会、症例ディスカッション

薬剤管理指導業務（病棟薬剤業務）

病棟業務

医師、看護師などとのチーム医療

患者教育

垣根が低いので、医師や看護師から情報収集

医師から学ぶこと
看護師から学ぶこと



多くの症例を
学ぶことができる

患者情報 疾病、診断、治療
経過、効果（薬剤）



薬剤の適正使用
→ 効果、副作用



診療科における専門性を経験する

医師や看護師、他のスタッフから学ぶことは多い



全ての診療において、「薬物療法」は欠かせない



薬剤を使用する「患者情報」がないと
適正な使用を知ることができない



学びたい = 特定の診療科（と、それに関連する疾患）

人財育成の方針

認定薬剤師までの道

初年度

入職後、薬剤師免許交付まで調剤補助業務（4月）

5月から **病棟担当者に付いて病棟業務**

内科（急性期、慢性腎臓病）

外科・泌尿器科、整形外科・眼科

包括ケア、障害者病棟

調剤（高カロリー、抗がん剤）

日本医療薬学会もしくは、目標とする領域の学会に参加



病棟業務を通じて、目標とする領域を決める

人財育成の方針

認定薬剤師までの道

2年目

4月から 希望病棟へ配属（6ヶ月ローテーション）

調剤（高カロリー、抗がん剤）

学会発表のための準備、症例集め

日本医療薬学会もしくは、目標とする領域の学会で発表・参加



病棟業務を通じて、1つに絞らず、関連する症例に関わる

人財育成の方針

認定薬剤師までの道

3～4年目

4月から 希望病棟へ配属（6ヶ月～**1年間**）

調剤（高カロリー、抗がん剤）

学会発表のための準備、症例集め

日本医療薬学会もしくは、目標とする領域の学会で発表・参加
各学会の認定講習会の受講（確認）



認定試験受験のための資格取得（日病薬病院薬学認定）

→ **6月頃にWebにて試験**

人財育成の方針

認定薬剤師までの道

5年日以降

4月から **病棟へ配属ローテーション（6ヶ月）**

調剤（高カロリー、抗がん剤）

認定資格受験のための準備、症例集め

日本医療薬学会もしくは、目標とする領域の学会で発表・参加
各学会の認定講習会の受講（確認）



認定試験受験のための資格取得（日病薬病院薬学認定）

→ 6月頃にWebにて試験

人財育成の方針

認定薬剤師までの道

1年目：5月から開始

2、3ヶ月のローテーションで、全ての病棟を担当する
興味がある領域を『探す、決める、やってみる』

2年目：急性期病棟を6ヶ月担当する面談後決定

内科系、外科系をローテーション

医療薬学フォーラム2020にて発表予定（2019入職者 2名）

3年目：急性期病棟主担当として、1年間担当する

先輩薬剤師サポートのもと、実践力を身につける

2017年 糖尿病療養指導士取得 1名（2015年入職者）

人財育成の方針

認定薬剤師までの道

4、5年目：急性期病棟主担当として、1年間担当する

日病薬病院薬学認定薬剤師受験

目指す認定薬剤師の受験準備

症例収集、学会発表・参加

6年目：急性期病棟を担当する

目指す認定薬剤師の受験

2019年 日本病院薬剤師会

感染制御認定薬剤師取得1名（2014年入職者）

きめ細かい情報収集と 的確な処方提案が大切

病状やけがで入院されている患者さんの近くで、薬の専門家として治療に貢献することが、病院で働く薬剤師の役割であり醍醐味です。仕事内容は大きく分けると、薬部業務と病棟業務があります。薬部業務は主に、入院されている患者さんの点滴や内服の調剤、机がら型や点滴リレー輸液の無菌調製などが挙げられます。処方せんによって調剤するのですが、相互作用や重複投与がある場合は医師に連絡を取り、適切な処方かを確認することが重要で、病棟業務は、患者さんの内服管理と、正しく、安心して投薬を受けてもらうための説明と指導がメイン。患者さんにヒアリングをして副作用やアレルギー歴などの情報収集を行うと共に、年齢・体重・腎機能などをとくに適切な投与量かをチェックし、必要に応じて医師に処方提案を行います。そして、これらの情報を多職種と共有して、質の高い治療・ケアにつなげています。



感染対策チームでの活動が 成長のきっかけに

薬剤師副都として働く場合、まずは院内の基幹で経験を積んでから病棟担当となることが多いのですが、当院では多角的な視点を持つために若手も並行して担当します。ふたつの業務はリンクしているので、薬剤師として成長していく過程で大きく役立っています。院内の感染対策チームに変わったことも、キャリアのターニングポイントとなりました。患者さんご家族はもちろん、当院に来られるすべての人を感染から守ることがチームの使命。そのために、医師や看護師など多職種と協力しながら、効果的な感染対策を実施するように努めています。感染対策は自分自身がきちんと行うだけでなく、すべての人に行ってもらわなければならないので、関心を持ち、理解してもらえるように働きかけることが大切です。この活動を通じて、チーム医療を展開するうえでコミュニケーションの大切さを実感しました。

多職種と協力して
質の高い治療に貢献する

京薬での実習や研究を通して現場に必要な力を培う

チーム医療を推進する医療の現場では、協調性や問題解決力などが求められ、こうした要素は京薬での学びのなかで培われたこともたくさんあります。特に病院での実習では、薬剤師の仕事は単に処方せんに基づいて調剤するだけではないことを実感し、知識を実践につなげることを意識して学習するようになりました。研究活動からも多くのことを吸収しました。私は、細胞の老化に関わる活性酸素を除去する物質について研究したのですが、研究プランや実験内容、結果の考察などを自ら率先して行うように心がけました。また研究テーマに関連する英語論文を読んだり、定期的に研究の経過を発表したりすることで、積極性や人に伝える力を伸ばすことができました。このように知識だけでなく、薬剤師として働くための総合的な力を身につけられるところが、京薬の強みだと思います。

今しか経験できない 6年間を大切にしてほしい

医療の高度化、多様な併い、薬剤師に求められる役割も、より専門化していくでしょう。今も自分の未熟さを痛感することもあります。『患者さんに安全な薬物治療を受けていただくための力になる』という思いを持って、自己研鑽に励んでいます。今後は抗菌薬や感染制御について深く学び、感染対策に役立ちたいと考えています。これから大学を目指す方にとっては、6年間の大学生生活は長く感じるかもしれませんが、しかし実働は日々の勉強や研究活動、クラブ活動などで、あっという間です。私はマドンナ部に入り、友人や先輩、後輩と一生の宝物となる関係を築くことができました。京薬は、『薬剤師の資格を取る』という同じ目標を持つ仲間と一緒に学び、社会に出てから役立つ力をつけることができる素晴らしい大学ですので、今しか経験できない貴重な6年間を大切に過ごしてください。



西陣病院 勤務
日置 透子
卒業年：2013年3月
在籍時の研究分野：代謝分析分野

京都薬科大学HPより

- 2014年 入職（感染関連に興味があり就職を希望）
- 2015年 ICTメンバー
- 2019年 日病薬 病院薬学認定薬剤師取得
- 2019年 日病薬 感染制御認定薬剤師取得

自己研鑽のサポート体制がある

- 1) 認定取得のための学会に参加できる
- 2) 自己研鑽の目的で、学会発表の金銭的支援を行う
- 3) 診療報酬に関連した認定資格の支援を行う

西陣病院認定薬剤師資格者	取得人数
がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
糖尿病薬物療法認定薬剤師（日本くすりと糖尿病学会）	1名
NST専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	1名
糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）	2名
医療薬学専門薬剤師（日本医療薬学会）	2名

人財育成の方針



西陣病院薬剤部が、求める人財

目標を持てる薬剤師

目標に向かって努力する

そのために、時間を有効活用できる

自己研鑽を怠らない

そして、新しい業務を確立し、自ら魅力ある職場にする



Lunchtime conference

薬剤部 取り組み

まず、興味がある領域を『探す、決める、やってみる』

そして、薬学系だけではなく、医学系学会にチャレンジする

1つのことに偏ることなく、広い視野で興味を持てる領域を探す

そして、やってみること

目標を持てる薬剤師

目標に向かって努力する

薬剤部の取り組みは、「業務を通じて支援する」

先輩薬剤師の志望動機

病棟業務に積極的に取り組んでおり、

先輩薬剤師のサポートを受けながら、経験を積み、
実践的な力を身につけられる。

患者、一人一人に誠実に向き合い信頼される薬剤師像が想像できる。

早期から病棟業務に携わることができ、

患者や他のスタッフと多く関わりを持つことができる。

認定薬剤師の資格取得を目標に多くのことを学び、

学会発表に挑戦する機会がある。

先輩薬剤師の志望動機

慢性腎臓病（透析医療）をはじめとして、
がん化学療法や糖尿病など、専門的な経験をつむために
最適な環境で、高い専門性を持った薬剤師として働きたい。

薬剤部は、病棟業務や地域の薬局との連携を行なっており、
薬剤師として、知識や他の医療者、患者とのコミュニケーション
を身につけることで、安心を届けられる薬剤師に成長できる。

薬剤師の可能性

病院における診療業務の主役になる

採用試験日

【採用人数】 3 名

【選考方法】 小論文（専門分野）、適性試験、面接

【応募方法】 履歴書、成績証明書、卒業見込証明書を郵送にて受付

【採用試験日時】 ただし、8月以降は、採用人数に達した場合は実施されません

2020年7月3日（金）（応募締切 6月30日 必着）

2020年8月7日（金）（応募締切 7月31日 必着）

2020年9月4日（金）（応募締切 8月31日 必着）

合否通知は、本人に5～7日以内に連絡

※ご都合が合わない方、ご不明な点がある方は、お問い合わせ下さい。

西陣病院の特徴

1. 診療、疾患領域では、慢性腎臓病、透析医療に加え、糖尿病、消化器疾患およびがん化学療法を主としている。
2. 薬剤部で学べることは、上記、疾患を中心に1つではなく、関連させた内容で学べる。
3. 西陣病院は、病床数、診療科などを見ていただいた通り、コンパクトではありますが、充実した医療を行っている。
4. 認定薬剤師は、あくまでも目標であり、そこに向かっていく過程で、多くのことを学んでもらえるようサポートしている。
5. 多職種間で垣根が低く、働きやすい環境にある。

西陣病院の特徴

6. 入職年度の5月から、全ての病棟（7病棟）にローテーション（1年間）で配属し、病院全体の機能を学べる。
7. 調剤、病棟業務を中心に全員がローテーションで業務を行っているため、幅広い知識と能力を修得できる。
8. がん、糖尿病、感染など各種認定資格を有する薬剤師もおり、質の高い薬剤師業務を行っている。
9. 薬剤師育成プログラムがあり、学会発表や参加、認定資格取得などの自己研鑽に対する支援体制に加え、子育て支援も充実しており、キャリアパスに適した環境が整っている。